

JAL「ふるさとアンバサダー」と「ふるさと応援隊」が 東亜大学トータルビューティ学科とネイルシールの商品化に取り組みます

2021年4月13日

JALは、地元の企業や大学、自治体の皆さまと共に地域活性化に繋がるさまざまな取り組みを行っています。

その一環として昨年、連携協定を締結している学校法人東亜大学学園東亜大学(山口県下関市)芸術学部トータルビューティ学科の学生とJAL山口支店のスタッフが協力して、ネイルシールの企画を行いました。2021年は新たに商品化を目指し、「ふるさとアンバサダー」と「ふるさと応援隊」が加わり、トータルビューティ学科2年生と協力して山口県を盛り上げるようなネイルシールのデザイン制作を開始します。

そのためのキックオフミーティングを2021年4月13日(火)東亜大学にて実施しました。ミーティングには4名の「トータルビューティ学科学生」(杉本有美、山川侑夢、秋山高志朗、本多祐典)、3名の「ふるさとアンバサダー」、2名の「ふるさと応援隊」が参加し、2020年の振り返りとともに、新たにデザイン制作、商品化を目指す2021年版ネイルシールについて、積極的なディスカッションを行いました。

JALは「ふるさとアンバサダー」や「ふるさと応援隊」をはじめ、JALグループ社員が一丸となるチーム体制を構築、幅広い活動を各地で展開し、地域の皆さまと共に地域社会や地域経済の活性化に貢献してまいります。



参加メンバー



ミーティング風景

【参考】

JAL、山口宇部空港にてネイルシールを配布

http://areanews.jal.co.jp/ja/attaches/pdf/ubj_200715.pdf

JAL、東亜大学と日本のクリスマス発祥の地でネイルシールを企画

http://areanews.jal.co.jp/ja/attaches/pdf/ubj_201204.pdf

「JAL ふるさとアンバサダー」「JAL ふるさと応援隊」について

<https://japan.jal.co.jp/>